

令和5年度 かながわティーチャーズカレッジ

COLLEGE NEWS

カレッジニュース



令和5年 10月 22日 発行
神奈川県立総合教育センター
かながわティーチャーズカレッジ事務局
(教育人材育成課キャリア開発班)

第5回 かながわ教育学講座

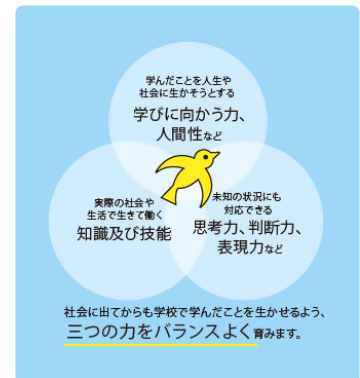
令和5年10月1日、第5回かながわ教育学講座が開催されました。第5回教育学講座のテーマは「いま求められる授業」です。今回は、小学校、中学校・高等学校、特別支援学校に分かれて講義を行いました。神奈川県のめざすべき教職員像の3要素（「人格的資質・情熱」「課題解決力」「授業力」）の1つ「授業力」について学びを進めていきました。校種別の講義の後、各グループで「いま求められる授業」について協議が行われました。

講義・演習「いま求められる授業」

これからの社会は、変化が激しく、予測困難な時代と言われています。その社会を生き抜いていく子どもたちには、どのような力を身に付けさせたいのでしょうか？ 講義では、いま求められる「授業の在り方」や子どもたちに「身に付けさせたい力」について学び、「授業づくり」について考えました。

「学習指導要領」には「これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を、共に創っていきたい。」という願いが込められています。社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を三つの柱として新しい時代を生きる子どもたちに必要な力が整理されています。また、それらを身に付けるために、どのように学ぶかも重視されています。授業づくりにおいて「主体的・対話的で深い学び」の視点が大切になることなどが説明されました。

では、「いま求められる授業」とはどのような授業なのでしょう？その後のグループ活動では、「授業づくりにおいて大切なことは何か」について協議しました。



文部科学省HPより

文部科学省のHPでは、学習指導要領の趣旨・内容を分かりやすく紹介するリーフレット等を見ることができます。

受講者のワークシートより

《オープンコース》

教え込むのではなく生徒から引き出すということが重要であり、生徒に考えさせ学びを深めていくことが重要であると学んだ。さらに、答えを出させるのではなく、自分自身の意見はどうかを授業内で引き出すことも、生徒に主体的に考えさせる授業を作る上で大切であることを学ぶことができた。全体を通して教師が与える授業ではなく、教師は生徒の学習をサポートする役割であるということを念頭に置き、今後の授業づくりで心掛けたい。そして「楽しい授業」だけでなく「興味を持てる授業」を心掛けるということも印象に残り、新たな学びがあった。

《チャレンジコース小学校》

今回の教育講座では、「いま求められている授業は、どのようなものか」「その授業をするために重要なことは何か」を学んだ。また、本時の授業だけでなく、授業前後の準備や評価を行うことで、授業をさらにより良いものへと改善することの大切さも学んだ。これらを踏まえた上で、授業づくりをする経験をもっと増やすことが自身の課題と考える。大学の授業やインターンシップの際に、授業をする機会があったら積極的に取り組み、経験を増やしていきたい。また、教材研究を効果的に行うためにも、日々情報収集することを欠かさないようにしたい。

授業をつくる中で、主体的・対話的で深い学びを実現させなければと考えていたが、単元全体の中で実現させれば良いということを知ることができた。そのためには、明確に目標を立てること、その目標に向けた見通しを持てる授業にすることが重要だと考えた。「いま求められる授業」を実現するためには、「児童が」を主語になる授業を行い、日々教材研究に取り組み、児童が意欲を持てる授業づくりに取り組んでいきたい。

《チャレンジコース特別支援学校》

今日の講座では「いま求められる授業」について考え、「教師の教材観」と「子どもに身に付けさせたい力」は相互に確認して行う必要があるなと思った。子どもが興味・関心をもつ授業づくりをすることで、目指す目標や単元から離れてしまわないようにすることが大切だと感じた。また、子どもたちを褒めることがとても大切だと改めて分かった。そのため、これからスクールライフサポーターなどで特別支援学校に行った際には、たくさん褒めていきたい。実際に特別支援学校の先生が子どもたちを自然に褒めていて、私も自然に「すごいね」「頑張ったね」と言えるような教員になりたい。

《チャレンジコース中学校英語又は高等学校英語/中学校国語又は高等学校国語》

学習指導要領の資質・能力の三つの柱において、どのような授業づくり、授業展開をすれば、生徒の資質・能力を向上させることができるか、もう一度深く考えるきっかけができた。特に、学習指導要領の文言を自分で読み、理解し、自分の言葉で書かれていることをアウトプットすることが大切だなと感じた。「いま求められている授業」とは何か、生徒にどのような力を身に付けさせるのか、子どもに考えさせる授業とは何か、については学生の今でも考えることはできる。言葉についてのアンテナをはり、一つの言葉に対して、一つの教材に対して豊富な知識を持てるよう、日々の言葉にも耳を傾けていきたいと考えた。